

目黒会 北海道支部 令和元年度 支部総会

日時： 令和元年9月28日(土) 16時より

会場： 札幌テレビ放送(STV)会議室

※14:30よりSTV施設見学会を開催し、その後会議室にて支部総会開催

参加者： 吉井 透 (S58I)、浜中 直人 (H3C)、倉田 健治 (H6N)、加賀谷 隆 (H6F)、
長堀 弘典 (H11E)、水谷 祐輔 (H15M)、藤川 朋大 (H28J)、本庄 良哉 (S61R)
懇親会より参加： 関 哲人 (H15IS)

来賓： 電気通信大学 福田 喬 学長

目黒会 野々村 欽造 会長、傘 義冬 副会長、今井 高介 理事、竹田 智彦 理事

総会議事：

平成30年度 北海道支部活動報告、支部収支報告

令和元年度 活動予定、予算案報告

これまでの活動報告

いずれも拍手にて承認

支部役員改選(議案)

昨年役員の定期改選をおこなったが、今回2名の交代を提案

・小林さん (H22E) 目黒会活動が休眠状態にあるため

・倉本さん (S60R) ご本人より業務多忙、ご家庭のご都合により目黒会活動に参加できない状況にあり役員を辞したい旨の申し入れがあったため

お二人に代わり、西村さん (H25E)、水谷さん (H15M)に役員を打診し

了承を得られた事から推薦

拍手にて承認された。(別紙 役員名簿を参照)

支部ホームページの運営について(議案)

昨年の総会にて『現状ふたつのサイトを活用できておらず、費用も掛かっているため、本部サイト内の支部ページに一本化し北海道支部独自のサイトを閉鎖したい。(なお、これまで独自サイトに寄せられた書き込み等の保存については今後の検討課題としたい)』として提案し承認されたが、独自サイトの貴重な記録の保存について適切な対応が定められぬまま1年が過ぎた。そこで、一転『記録の保存のため独自サイトを当面維持してゆきたい』と提案

→→ 協議の結果

① 当面独自サイトは閉鎖せず維持する

② より適切な運営について、本部HPへの一本化もふくめ対応策を検討するとなりました。

本件については、Webについて明るい浜中副支部長に対応を依頼。

(本部HPへの一本化などの技術的可能性について運営管理者に確認中)

来賓あいさつ(講演)：

福田 喬 電気通信大学学長

大学を取り巻く状況、教育の質保証、研究力強化、財務基盤の強化、学生の修学支援(奨学金)制度についてお話があった。

・**教育の質保証**：単なる単位取得でなく学習ポートフォリオシステムとレーダーチャート、指導教員の所見を付したディプロマサプレメントを実施することを強調された。

・**研究力強化**：“D.C.&I”(Diversity, Communication & Innovation)を教育研究戦略とすることを強調された。

・**修学支援(奨学金)制度**：国が示す修学支援制度では本学における免除基準を大幅に下回ってしまうこと(モデルケースでは部分・全額免除対象者が571人⇒253人に減少)が明らかになった。またUEC基金への協力の呼びかけがなされた。

野々村 欽造 目黒会会長

5月の定時総会の結果を踏まえて、目黒会活動の**基本方針**、発明クラブや学術講演会などの**社会貢献活動**、就職相談・UEC 基金への協力および国際学会支援などの**大学支援活動**、親睦ゴルフ、グループ支援など**会員の親交・親睦活動**について説明がなされた。あわせて学生への支援を一層確かなものとするため UEC 基金への協力依頼があった。

懇親会

総会后 18時10分よりホテル札幌ガーデンパレスにて懇親会。ここからは関さんも合流され14名にて開宴。新潟より札幌へもどられた水谷さん、帯広より4年ぶりの参加となった長堀さん、北海道支部総会へは初参加となる竹田理事をかこみ、時間いっぱいまで笑い声と盃をくみかわす音が響きました。今回も幹事が盛り上がり過ぎたため恒例となっているはずの出席者全員の「一言挨拶」はタイムオーバーで入らず。

その勢いで、二次会には12名が参加、一次会でできなかった「一言挨拶」を含め二時間めいっぱいとても楽しい宴となりました。

懇親会開宴前に記念撮影



倉田	吉井	水谷	竹田理事	長堀	藤川
関	加賀谷				
今井理事	福田学長	本庄	野々村会長	傘副会長	浜中